2006年(平成18年)12月 第134号 仙台市議会だより

改革ネット仙台

問 大泉 鉄之助 委員
手数料三百円の住民票のコストは、五百六十六円。行財政改革でコスト意識涵養は必須だ。コスト縮減の努力と情報提供で、改革への理解を得ることは行政の責務では。

答 職員のコスト意識の涵養をより徹底する。また、行政サービスにコストが伴うことを丁寧に市民に説明したい。

問 市税の賦課徴収
○女性職員の係長昇任試験
○外郭団体、仙台都市総研、仙台市企画市民局の在り方
渡辺 博 委員
学習習熟度調査は、教育委員会の負担で行うべき。

答 現在、保護者負担で学校毎に行っているが、必要な情報や学校の学力向上の努力への評価等を検討したい。

問 ○学力向上に当たっての課題と取り組み
○義務教育課程の存在意義
○家庭の経済力に左右されない教育水準の確保
○社会の要請に応える教育委員会の努力と課題
○学校経営者の資質と使命感
○民間の経験を生かした学校経営と民間人採用
○子どもの健全育成
○全市の事務引継ぎの意義と根拠となる服務規程の改正
大内 久雄 委員
農業用用排水路の日辺堀の改修工事の日程を伺う。

答 工事は、仙台東部道路の東側と西側の二工区で、東側は十七年度末で九十八メートルを整備した。西側は、来年度から再来年度に測量等を行い、順次計画的な改修工事に着手する予定である。何れも若林区内で最優先に取り組む。

問 宮沢根白石線整備に関し、仙台駅東第二地区内の全線開通の時期を伺う。

答 移転建物の民民の権利調整が難航し、時間を要する。

問 ○東部地区治水対策整備事業の促進について
○宮沢根白石線整備におけるJRとの協議と着工見通し
岡部 恒司 委員
楽天球団参入による経済波及効果とその内容は。

答 本市試算で総額二百十三億円。その内容は、球場改修費、グッズ売上、交通費等観客消費等の直接効果とそれらに関連する産業の生産が誘発される間接効果がある。

問 球団が青少年に与える影響・効果について伺う。

答 親子や友達の間で、観戦等を通じ、お互いの絆がさらに深まる等子供たちの健全育成の面で、良い効果をもつ。

問 ○プロスポーツへの支援策
田村 稔 委員
十九年前に提唱された東北インテリジェント・コスモス構想について、新産業創出のため研究開発の継続は必要だが、中間総括すべきでは。

答 本構想は、東北の産学官連携の基盤づくり等に先駆的役割を果たした。現在、研究所誘致等により、経済効果の高い産業集積を図っており、今後のあり方を社会経済情勢の変化等を踏まえ検討する。

楽天イーグルスを応援する多くの観客

問 ○南吉成リサーチパークの現況と研究施設の誘致活動
鈴木 繁雄 委員
戦争で戦死した仙台藩士らの霊を弔う「弔魂碑」がある。函館にある碧血碑の碑前祭のような行事は行っていないが、国家を思い、志をもって亡くなった先人の慰霊について、どう対応するか、市長に伺う。

答 歴史的な遺産を大切にし、次の世代へ継承することは大変重要である。市民や観光客が訪れ、先人に対し慰霊をし、色々な思いに浸れるよう、適切な管理について、関係部局できちんと対応したい。

問 東二番丁幼稚園は、行財政改革で廃園の方針だが、人件費削減、人事交流等での市の努力が みられない。同園存続の三万一千人の署名もあり、その存続を望むがどうか。

答 できる限り関係者の皆様が納得いくよう、最善の方策を見出すよう最大の努力をし、十分な時間をかけて、問題解決に向け検討を進めたい。

問 財政改革で廃園の方針だが、人件費削減、人事交流等での市の努力がみられない。同園存続の三万一千人の署名もあり、その存続を望むがどうか。

答 利子と元金の定時償還の合計額から事業収支額を差引き、約八億四千万円不足した。市債管理基金から借り入れた。

問 アエル店舗の賃貸条件に問題がある。改善を図り、収入を増やす努力をすべき。

答 商業環境も好転し、次の賃料改定交渉を進めている。

問 本来の事業目的に沿って、アエルの売却を急ぐべき。

答 賃貸事業継続か売却か、タイミングを逸せず判断する。

問 ○消防局の不祥事と再発防止に向けての対策について
○宮沢根白石線整備に関し、仙台駅東第二地区内の全線開通の時期を伺う。

答 移転建物の民民の権利調整が難航し、時間を要する。

問 ○東部地区治水対策整備事業の促進について
○宮沢根白石線整備におけるJRとの協議と着工見通し
岡部 恒司 委員
楽天球団参入による経済波及効果とその内容は。

答 本市試算で総額二百十三億円。その内容は、球場改修費、グッズ売上、交通費等観客消費等の直接効果とそれらに関連する産業の生産が誘発される間接効果がある。

問 球団が青少年に与える影響・効果について伺う。

答 親子や友達の間で、観戦等を通じ、お互いの絆がさらに深まる等子供たちの健全育成の面で、良い効果をもつ。

問 ○プロスポーツへの支援策
田村 稔 委員
十九年前に提唱された東北インテリジェント・コスモス構想について、新産業創出のため研究開発の継続は必要だが、中間総括すべきでは。

答 本構想は、東北の産学官連携の基盤づくり等に先駆的役割を果たした。現在、研究所誘致等により、経済効果の高い産業集積を図っており、今後のあり方を社会経済情勢の変化等を踏まえ検討する。

公明党

問 会計・費目別の主な質疑項目
〈公営企業会計〉
○ガス事業の営業活動促進・民営化に向けた取り組み
〈市民費〉
○歩きタバコ禁止促進への駐車違反取締り巡視員の協力
〈健康福祉費〉
せんだい保育室にも所得割による保育料を導入せよ。また民間保育所も、有料公園の使用料を減免せよ。

答 保育料を認可保育所と同一とすることは困難だが、公園の使用料は減免の方向で現在の要綱の改正を考える。

問 ○新婚や子育て世帯への家賃補助について
○新生児聴覚検査実施を急げ
○介護予防の推進を担う地域包括支援センターの早急な機能の改善について
○虐待児童を救うための児童相談所の機能強化と児童養護施設の充実について
〈消防費〉
○市民への地震情報提供の手段としての緊急地震速報の導入について
○新消防ヘリの実りある活用に対しスクールバスを有効に活用すべき。

答 現行はあくまで遠距離通学の一手段だが、実状況に応じた見直しは必要と考える。

問 ○遠距離通学補助の使いでのよい仕組みについて
○養護学校高等部の卒業生の進路について
○障害者の就労を促進するための仙台市の取り組み姿勢
○仙台市役所職員に知的障害者を採用することについて
○図書館における不明本対策
○図書館駐車場料金の公平な取り扱いのために見直しを
〈歳入〉

問 公共施設に設置される飲料自動販売機等の契約を、市が直接行うことで歳入アップを図れるのではないか。

答 福祉団体支援の側面もあり、課題に対してのような対応が可能か検討したい。

問 税収を増加させるため市独自の制度を創設すべき。

答 必要な方には貸与すべきとの意見もあり、国において実態把握し、必要に応じ規定改善するよう申し入れたい。

問 ○地域包括支援センターの委託料を増額すべき
○家庭ごみ有料化に反対。紙類、プラスチック類の分別と回収を徹底し、ごみ減量をすすめるべき
○事業系ごみの減量推進を

新消防ヘリ「けやき」

市独自の支援制度が望まれる介護ベッド

日本共産党

問 花木 則彰 委員
市民の負担軽減に役立つ制度を特集するなど、分かりやすい広報を。

答 情報を利用者の視点で取りまとめるなど分かりやすくなるよう工夫したい。

問 ○児童館一館あたりの指定管理料が他都市より二百~四百万円も低い。子どもたちが我慢をさせられ、職員の給与が低い水準になる。思いきった増額をするべき
○非常勤講師など学校教育の場に広がる不安定雇用・賃金を改善すべき
嵯峨 サダ子 委員
太白区青山地域、秋保町竹ノ内・石神地区の住民の交通確保を急ぐべき。

再整備が進められる西公園（青葉区）

問 泉岳少年自然の家の改築に関し、廃止予定の野外活動センター機能は必要だ。置場所とスケジュールを伺う。

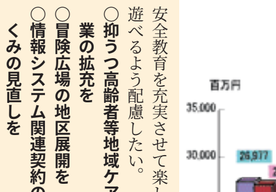
答 新しい少年自然の家は現在の野外活動センター付近に設置し、センター機能の一部を付加する。開館は平成二十三年度中を想定している。

問 ○自然の家にはスポーツ団体の合宿・一般市民向けの施設や、冒険学校の導入を

答 地域に根ざした活動を前提とした学びの場として改めて将来へ向けた活動のあり方を考えていく。

問 ○社会学級の予算削減理由
岡本 あき子 委員
キャッチボールも含め子どもたちが遊びたい遊びができる公園・校庭の整備を。

答 公園は広さ等に応じて柔軟な対応が重要で、校庭は


海岸公園冒険広場（若林区）

みらい仙台

問 鈴木 勇治 委員
下水道事業の収支悪化の場合、安易に使用料改定はすべきではないが、いかがか。

答 ご指摘のとおりであり、資金調達コストの徹底的な削減に向け、今後も資本費平準化債の更なる活用を進める。

問 ○地方債市場での本市の評価を高める投資誘導策
○地方分権改革の取り組み
熊谷 善夫 委員
従来の特殊教育と、新しく進める特別支援教育との教育内容の違いを伺う。

答 従来は障害程度等に応じ特別の場で指導したが、今後は国の方針を受け、通常学級の在籍者も含め個別に教育的ニーズを把握し支援する。

問 ○学校給食の食育アレルギーへの対応の現状と新野村給食センターの対応
渡辺 芳雄 委員
ごみの不法投棄防止対策について伺う。

答 早期発見、拡大の未然防止が対策の基本と考えており、土地の管理・所有者や警察との連携、産廃Gメンの活動等により、対応に力を注ぐ。

問 ○クリーン仙台推進員の活動
○ごみ焼却場の将来展望
○体育指導員の活動
橋本 啓一 委員
高齢化や低所得者増加に伴い、国民健康保険料収納率対策や市民の国保への理解を深める取り組みを伺う。

答 税部門と連携した口座振替の促進や、訪問納付指導重視の取り組み等を強化する。

問 ○予防を重視した生活習慣病対策としての特定検診と保健指導の連携
郷湖 健一 委員
堆肥化センターの稼働状況について伺う。

答 平成十七年度は二百三十五日稼働し、ほぼ予定通りの運転状況である。し尿汚泥等二千六百七トンを処理し、肥料の製造量は三百六十八トンとなっている。

問 ○スポパーク松森の利用状況と、より良い施設運営策
西澤 啓文 委員
危機管理部門を市長部局に移す等、災害時に全庁的な対応ができる体制を。

答 現体制で市長部局、三役、危機管理監の間で二十四時間体制で迅速に連絡・対応が可能だが、多々課題があり、他自治体を参考に検討する。

問 ○救急車等の不適正利用の是正に向けての取り組み
関根 千賀子 委員
西公園の再整備について、スケジュールも含め伺う。

答 「うるおう緑の拠点づくり」をテーマに、仙台の新たな個性を創造する空間として整備する。西道路を境に南北に分け、東西線工事と整合を図りつつ段階的に進める。

問 ○市内の街路樹の管理・整備
○青葉山公園と追廻住宅問題

再整備が進められる西公園（青葉区）

社民党

問 大槻 正俊 委員
児童館建設時には、十分な児童クラブ室の確保を。

答 多くの子供が利用できるよう、他の居室との共用や間仕切りを設けるなどレイアウトの工夫をしている。

児童館専用の部屋が１室だけの狭い西多賀児童館（太白区）

問 ○児童館の人員体制の確保を
○地場産品の活用、販売促進を観光業界との連携で
○助成策を含め商店街の活性化を推進すること
○獣害対策への支援体制強化
斉藤 重光 委員
ドクターカー事業の拡充のため、地域を考慮した救急ステーションの複数配置を。

答 救命効果のデータ等に基づき、複数整備の必要性等を含め、より効果的なドクターカーの運用策を検討する。

問 ○大雨時における今泉ポンプ場の早期起動体制の整備を
○仙台東部地区の治水・内水対策の具体化、早期策定を
○広瀬川創生室の体制強化
小山 勇朗 委員
国分町の放置自転車対策は、多額の経費を要する公園地下駐輪場以外の対策を。

答 路上駐輪等様々な方法を検討した中で、地元の意向等も踏まえ、国分町地区に地下駐輪場整備を進める。

問 ○市バス事業は効率化優先ではなく、安全性・利便性・定時制確保を優先に
○飲酒及び酒気帯び運転防止の交通局における取り組み
八島 幸三 委員
○仙台市急患センター、北部急患診療所と市立病院との連携の強化を
○急患センターの深夜帯における放射線技師の確保及び診療体制の強化を
石川 建治 委員
少人数学級の導入と拡充を促進すべき。

答 現在の35人学級や少人数学習の教育的効果等の検証が必要であり、重い課題として、慎重を要すると考える。

問 ○学力向上へ向けた取り組み
○急患センター、北部急患診療所と市立病院との連携の強化を
○教員の多忙化対策を
○オムニバスタウン計画の検証とアクセス30分構想推進に、仙台の良さをPRし、東京圏からの定住促進を図るべき。また、市中心部に人が住める政策を導入し、活性化を推進すべきではないか。

答 議員の提案に賛成であり、趣旨に沿って仙台の街の魅力を高める施策を展開する。

フォーラム仙台

問 佐藤 わか子 委員
野生サルの被害が深刻化する中、群れごと捕獲も含めた抜本的対策が必要では。

答 県の計画に基づき捕獲作業を実施してきたが、今後は、より有効な事業の推進方策を検討実施していきたい。

問 木村 勝好 委員
全国から、仙台への転入や定住を促す政策を進めるべき時期ではないか。

答 都市ビジョンのテーマとして検討し、明確な方向、戦略を打ち出したい。

問 地下鉄の広告収入アップを図る新たな努力を進めるべきではないか。

答 広告代理店と連携し、主体的に営業活動に携わり、広告掲出増加に努める。

問 ○空港アクセス鉄道への仙台市の今後の対応について
渡辺 公一 委員
本市主催の国際音楽コンクールがこれまで三回行われ、音楽関係者からレベルの高さが評価されている。会場のホールもコンクールにふさわしい施設が必要では。

答 財政的な問題で凍結されているが、遠くない将来に世界に誇れる施設が実現できるよう積極的に調査・研究を進めて参りたい。

問 安孫子 雅浩 委員
防災訓練や発災時に避難活動を担う地域防災リーダーの研修の充実を求む。

答 養成研修の他、図上訓練等、より実践的な対応が可能な研修の充実に取り組む。

問 六百人を超える軽度発達障害児への対応に各学校の指導環境の充実を求める。

答 特別支援教育コーディネーター配置や相談員等の派遣、ADHD児等個別指導補助員の配置等を行っている。

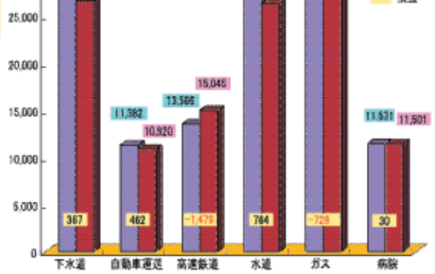
問 横田 匡人 委員
社会学級は生涯学習の場であるばかりではなく、親のコミュニケーションづくりにも役立っている。地域の教育力再生のためにも活かすべきと考えるがいかがか。

答 地域に根ざした活動を前提とした学びの場として改めて将来へ向けた活動のあり方を考えていく。

問 ○社会学級の予算削減理由
岡本 あき子 委員
キャッチボールも含め子どもたちが遊びたい遊びができる公園・校庭の整備を。

答 公園は広さ等に応じて柔軟な対応が重要で、校庭は安全教育を充実させて楽しく遊べるよう配慮したい。

問 ○抑うつ高齢者等地域ケア事業の拡充を
○冒険広場の地区展開を
○情報システム関連契約のしくみの見直しを



各企業の損益計算書に基づく消費税及び地方消費税抜きの金額

やしろ

問 屋代 光一 委員
仙台開府四百年記念事業の一環で、バチカン市国のローマ法王夏の離宮に設置された「風の環」の彫刻を仙台市民が見られるように、両国の窓口をつくってはどうか。

答 私は、設置されていること自体が大変素晴らしいことと考えている。バチカン市国という国の特別な性格から、極めて困難ではあるが、その可能性を探っていきたい。

「風の環」の彫刻
（ローマ法王夏の離宮に設置）

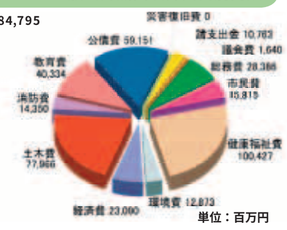
本委員会は、議会選出の監査委員五十八名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに質疑を行います。

審査は九月二十日から十一日間開催され、延べ七十人の委員が三十五時間にわたり審査を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

決算等審査特別委員会

委員長 日下富士夫
副委員長 菊地 昭一

平成17年度 一般会計歳出決算費目別内訳



単位：百万円

平成17年度 一般会計歳入決算の主な内訳

単位：百万円

	決算額	構成比
市税	167,052	42.7
市債	46,460	11.9
諸支出金	42,412	10.8
繰入金	29,564	7.5
地方交付税	33,729	8.6
その他	72,369	18.5
一般会計歳入決算合計	392,206	100.0

平成17年度 一般会計決算 収支の状況

単位：百万円

予算現額		419,998
歳入決算額	A	392,206
歳出決算額	B	384,795
歳入歳出差引額	C=A-B	7,411
翌年度へ繰り越すべき財源	D	5,011
実質収支額	E=C-D	2,400